

KEYAK!

10月号

スポーツをしている人は別ですが、皆さんは最近で全力疾走した記憶ありますか。多分私は何もないフラットな地面でもきっとコケてしまうでしょう。走ることよりそのことで怪我を負うことが容易に想像できます。復活劇とかもういないからなあ・・・でもなってしまったら仕方がない。乗り越えるしかない・・・怪我に限らず人生において避けて通れない道は必ずあるのだ・・・。

子どもたちにとってもそんな人生第1弾がうんどう会なのではないかと思ったりします。かと言って皆が嫌がっているわけでもないのですが、例えば1学期中の活動やあそびでは何となくできちゃった、周りにつられてやった風、よく分からないけど終わってた、という部分が多々あってそれでよかったのです。しかしながらうんどう会はいやがおうでもやってきます。体を動かしてみんなと同じことをしたり競ったりそれを人前で披露したり。それが得意な子もそうでない子も、「やらねばならない」経験は子どもたちにとってこれから必要な要素でもあるのです。

さて「走る」に戻ります。私は子どもたちが走っている姿や表情が大好きです。うんどう会の練習を観ていてどの学年も「走る」は出てきます。その印象は、年少さんはニコニコ走る。年中さんは修行で障害物もあるので今は少し緊張気味で走る。年長さんはもちろん、一生懸命走る、です。いろいろな「走る」です。速い遅いは関係なく、それぞれの子が自分の全身の力を使っていることを実感できたら、さぞかし気分がいいことでしょう。

うんどう会では、是非「ガンバったね！」と声をかけてあげてください。頑張る、頑張ってみることの素敵さと大切さを、子どもたちの心に刻んであげたいですし刻んでもらいたい。

バズる、よりずっと前からあるハシる、のほうがずっと魅力的です。

*今年も懲りずに鳴子あります。くれぐれも応援よろしくお願い致します。(今回注文した鳴子の数、半分位着色済みのが来てしまったのですが、あまりにもよさこい100%だったため返品しました)

今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）

3歳

- ・ 簡単な集団遊びに興味をもち、ルールなども理解してくる
- ・ 運動会が終わった後も、友達とかけっこやダンスをしたり、年中・年長児の競技をまねたりしながら、新たな遊びに挑戦してみようとする

4歳

- ・ 散歩などをしながら、秋の自然に興味、関心をもち、触れて遊ぶ
- ・ クラスのみんなと一緒にする遊びや活動に、喜んで取り組もうとする
- ・ 仲間のよさを認め合い、評価し合える雰囲気ができる
- ・ 自分なりの思いやイメージをいろいろな方法で表現したり、相手に伝えようとする

5歳

- ・ 運動会を体験したことにより、クラスや学年など集団のまとまりが強くなっていく
- ・ 友達と考えを出し合いながら、互いのアイデア、イメージを共有できる
- ・ 様々な材料に触れ、素材の特徴を感じながら、製作あそびを楽しむ